

第6回白山市教育委員会会議録

1 日 時 令和5年5月31日（水）午後4時

2 場 所 白山市役所本庁舎4階 402会議室

3 出席者

教育長	清水 茂
教育長職務代理者	竹内 千恵子
教育委員	小寺 正彦
教育委員	尾張 勝也
教育委員	安川 薫

欠席者

教育委員	北田 朋幸
------	-------

4 事務局

教育部長	山内 満弘
教育総務課長	米木 伸一
学校教育課長	藤 法生
学校指導課長	東海林 幸男
生涯学習課長	中村 繁樹
子ども総合相談室長	浅香 弥生
松任図書館長	三谷 哲史

書記職

教育総務課課長補佐	長島 史晃
教育総務課係長	山崎 有香

5 傍聴人 なし

6 案件

議案第26号	白山市学校運営協議会規則の一部を改正する規則について
議案第27号	地域学校協働活動推進員の委嘱について
議案第28号	白山市教育委員会社会教育表彰選考委員会委員の委嘱について
議案第29号	令和5年度白山市一般会計補正予算（教育費）について

7 議事の経過等 以下のとおり

清水教育長の開議あいさつに続いて、議事録署名委員として安川委員を指名した。

諸般の報告について、教育部長より教育長職務代理者、教育長が出席した行事の主な概要について報告した。

■主な行事の概要（4月28日の教育委員会以降の報告）※教育長職務代理者出席分

- ・ 5月 8日（月） 白山市退職教職員感謝状贈呈式（市民交流センター5階大会議室）
- ・ 5月 9日（火） 石川縣市町教育委員会連合会定期総会（金沢市教育プラザ富樫）
- ・ 5月10日（水） 令和5年市議会5月会議
教育長辞令交付式（特別応接室）

■主な行事の概要（5月10日以降の報告）※教育長出席分

- ・ 5月10日（水） 教育長辞令交付式（特別応接室）
- ・ 5月12日（金） 寄附感謝状贈呈式（特別応接室）
- ・ 5月19日（金） 令和5年度第1回子どもの権利委員会（402会議室）
- ・ 5月22日（月） 白山市奨学金支給審査委員会（403会議室）
石川県へき地教育振興会第1回理事会（金沢市役所第2本庁舎）
- ・ 5月25日（木） 令和6年度全国中学校体育大会石川県実行委員会役員等研修会
（いしかわ総合スポーツセンター）
- ・ 5月28日（日） 石川県民大学校・大学院修了証書交付式（県立生涯学習センター）

本日の議題に入り、議案第26号、議案第27号、議案第28号、議案第29号について、質疑・応答が行われ、原案どおり承認し閉会した。

【案件の説明および諸報告について】

案件について、事務局より説明・報告し、原案通り承認された。

【主な質疑・応答の内容について】

○白山市学校運営協議会規則の一部を改正する規則について

（尾張委員）

コーディネーターに報酬は支給されますか。

（藤学校教育課長）

支給されます。

○令和5年度白山市一般会計予算（教育費）について

(小寺委員)

部活動指導員配置事業のことについてお聞きしたいのですが、今年度2校追加の11校になりますが、2校とはどこの学校でしょうか、教えてください。

(東海林学校指導課長)

文化部2名の追加なのですが、吹奏楽部で松任中学校と北辰中学校に専門家をつけております。

(小寺委員)

9校はすべて中学校でよろしいですね。

(東海林学校指導課長)

昨年同様9校については運動部活動です。中学校になります。

(竹内教育長職務代理者)

給食費のことなのですが、今回の補正で一番大きな金額だと思います。これをすべて地方創生臨時交付金で充てるということで、市としては何か考えているということはないのでしょうか。今日の新聞でも、近隣の市が無償にするというような記事が載っていたのですが、白山市としてはそういう方向性というのは、今はまだ考えていないのですか。

(藤学校教育課長)

今ほどお話ありましたように、給食の無償化ということで今日の新聞にも出ていました通り、川北町、能美市が実施予定というところなのですが、白山市におきましては、物価高騰分ということで財源は充てさせていただいて、保護者の負担を減らすという方向で考えております。

(竹内教育長職務代理者)

周りの市町がどんどん無償化しようかとなるとやはり、市民の関心とか、市議会の関心とかが高くなるのではないかなと思います。また少しご検討いただきたい。我々も3、4年前からこのお話をずっとして、難しいねという話はして理解はしているのですが、やはり周りがみんな無償化してくると、市民の関心が高くなるのではないかなと思います。市として何らかし説明できるようなものがあればいいかなと思います。

(山内教育部長)

今ほどのご質問ですが、新型コロナウイルス地方創生臨時交付金につきましては当初、やはり給食無償化について使うのか、物価高騰分に使うのかということを経済的に財政課で検討させていただいております。そのための費用がいくらかという試算も、財政課に渡し

たのですが、この給食費のみならず、他にも商工業への補助とか、世帯にお金を配付するとか、事業案の中で試算をした結果、白山市の場合は、そのような事業について優先的に使った残額について、物価高騰分に使うということで現在のところ判断しております。ただ、まだ残額があるようで、それをどう使うかというのはまた今後の判断となりますが、全額無償化ではお金が全然足りないものですから、いわゆる段階的な中学校3年生とか2年生からというような方向で、無償化するののかというのは今検討してる最中ですが、高騰分についてはまず今、議会で3月に質問もありましたので、その分については対応したいということです。

(竹内教育長職務代理者)

併せて、給食費については、国でも話題になったことがあったと思うのですが、その後何か進展はなかったのでしょうか。

(山内教育部長)

自民党の茂木議員が自民党からの給食費無償化について、こども家庭庁ができることから異次元の少子化対策ということで案を出しましたが、やっぱり財務省の関係から財源をどうするのかということで、新聞報道にもいろいろ出ておりますけれど、基金を積みばどうかという話の中で、いろいろな話が出ておりますけれども、まだ国が給食無償化についてそこまで至っていない状況です。結構反対する意見も実は野党側からあり、財源について大丈夫なのかということもあるので、そこはちょっとまだはっきりとしたことは出ておりません。ただ、特別交付金とか、基金を作るという話までは行ってるかと思います。こども家庭庁ができたことによって、そういった基金を充てたらどうだということまでは行っておりますけれども、それも貧困世帯とかの方面もかなりいろいろ予算が必要なので、それで給食無償化まで出るのかというのは、ちょっと分かりませんね。

(清水教育長)

田村市長の懸案にもなっていることは事実で、選挙の公約も何か無償化に向けた筋道はつけたというそういうおっしゃりようでございますので、今部長が言われたような国の動きも注視しながら、市長の判断もあるのですけれども、また何らかのアクションが出てくるかと思えます。

(尾張委員)

意見ですが、前もここで話になっていたと思うのですが、白山市の給食が自校調理で非常においしい。例えば無償化したときに、今のそのレベルというか質が、そのまま確保されて、無償化という道があるならいいのですけれど、どうしてもコストダウンとか効率化ということで、その質が下がる。どういうふうにも下がるかは、いろんなパターンがあると思うのですが、それだと、本当に保護者としてどうなのかなって思っています。僕は何人

かの保護者と無償化の話をしていたときに、実は白山市は自校調理で、他の市町から来た先生方がまずは、給食を食べて白山市の給食おいしいって言うんですよ、と伝えました。それが今ベースにあるわけなのですけれども、無償化になったら例えば給食センターとかになって、冷たいものが来るわけではないけれども、いろいろ効率化されたようなものが来たり、給食のおばちゃんありがとう、みたいなシーンもなくなる。そんな状況になるのであれば給食費を払っても良い、という保護者の方もいました。そんな状況でもどうしてもタダじゃないと駄目という保護者も、実はあまりいないのではないのでしょうか。たまたまここで聞いた数人がそうだったかもしれませんが、単に嫌なのは、タダとか安いとか、今流行りの経済的にお金が安いからいいとかでそこに飛びつくのではなくて中身もちゃんとやって、こちらのそういう情報ももっと開示して、最終的には保護者の方がそれでいいのか、そんな状況でもお金が安い方がいいのですかというようなことは保護者の方にも考えてもらわないといけません。単に他の市町が無償化になっているのになぜ白山市は無償化にならないのかというその理論・論議は僕はとても不愉快で、だからそういうことも含めて、もちろん無償になれば一番いいのですけれども、それで失われるものがどれだけあってということも、同時に保護者も含めて、みんなで考えていかなければいけない問題ではないかなというふうに思います。

(安川委員)

今年うちの子どもが中学校を卒業しまして、義務教育を終えたのですけれども、4月からもうお弁当生活が始まっています。ポロッとこの前言われたのが、「お弁当もいいけれどやっぱり給食、たまに食べたくなるわ」ということ。なので今、尾張委員さんがおっしゃったように、白山市の給食は自校調理で3、4限目になると、もう作っているにおいが教室に入ってきて、本当に五感で楽しむ給食なのです。本当に質とか量とかそういう嗅覚から入ってくるとか、そういうところがあってこそ白山市の給食だなと思うので、安易に数字、家庭の負担が、と言うのはまたちょっと違うかなというのは私の個人的な意見です。あと、毎月の引落しがこれだけです、という紙が中学校から来るのですけれども、その時にPTA会費いくら、〇〇費いくら、教材費いくら、その中に給食費いくらと一応保護者もそれを目にするということはあるので、全くその紙の中から、給食費という項目が抜けるのも、もしかしたらあまり良くないのかな、という、ちょっと感覚的なところですが、そんな思いもあったりはします。

(尾張委員)

もう一つ言い忘れたのは、やっぱり白山は食育ということに取り組んでいて、地産地消も含めて、とても大事にしている。それが今言ったように例えばセンターとかどこかで一斉に作った時に、その食育的な部分、地産地消、季節に応じた旬のもの、白山めぐみ給食、そういうものがちゃんと維持できるのかというその辺も含めて考えていけない。それと、保護者の方が言っていたのですけれども、タダになると感謝する気持ちがなくなると

うか、それが当たり前になってしまう。無償化だから子どもの教育のものにお金がかからないのは当たり前みたいになるのはちょっと困るというか。お金を出すことで、ちゃんとしたものを作ってもらってという今の安川さんと似ているかもしれないけども、大事な子供の成長に必要なお昼ご飯というものをすごく大事にしていますよ、場合によっては朝とか夜とか、忙しい家庭でなかなか家のバランスとかを考えて、正直言って、作ることができない家庭もある状況で給食ってものすごく大事だということも保護者から聞いているので、その辺も全部含めての論議を進めていって欲しい、いきたいなということをつけ加えます。

(清水教育長)

事務局から何か返すことありますか。

(山内教育部長)

今ほどの教育委員さんの言われたことは白山市にとってありがたい言葉で、ありがとうございます。本当に今言われた通り、白山市は食育ということで、自校調理をメインとして松任・美川地域は少しまとめて作っているところがございますけれども、給食が非常においしいというのはご飯でいうと県産米を使っていますけれども、白山市の場合は、通常は二等米なんですけど、一等米ということでこれをJAさんがその差額の部分を寄付してくれているとか、いろんな条件の中で作っております。1食当たりの小学校給食単価が280円弱、中学校が340円弱ですけれども、これも県内でやっぱり白山市の給食単価が一番高いです。やはりおいしいということはそれだけ高い食事なのです。国が給食無償化した場合、おそらく都会の安い給食費の単価で、国は補助を交付金等を出してくると思うので、それに合わせるとなると質は落ちます。つまり白山市で持ち出しをしない場合は、給食の質は落ちます。確実に落ちるだろうと思われま。その分の差額を市が持ち出しして、一般財源で充当するか、あるいはその差額を、白山市の給食がおいしいからということで、270円のうち30円から40円程度、通常よりも高い部分を個人にまた負担していただいて、おいしい給食を実施するとかいろんなことを白山市の場合は考えなければならないのですけれども、そういった方向で今の状態を維持するということになると、白山市の持ち出しは多分必要かなというふうに思います。